

病院問題について 乳幼児医療費無料化問題について 原発問題について



清水 登夫

問 医師不足・看護師不足を解決する方向になっているか、赤字を埋める方法は

答 病院事務員の削減や委託業務の見直し、経費削減によって病院事務費が減少した結果、一般会計補助金を少し減少させる事が出来ました。18年度より更に補助金を縮小させる予算を立てて執行しています。医師確保は医師にとっても患者にとっても魅力的な病院になるといのが一番大事。また、医大を中心に医師派遣を各医局に要請しています。医師不足解消のためには、専門医の研修ができること、住居や給与などの条件を充実させることが重要です。また、専門医取得の認定施設になる様努力中です。医師の数も増えれば収益も上がる。診察料を充実させ収益を上げる努力をします。

問 乳幼児医療費無料化を更に充実させる考えは

答 乳幼児の医療費無料化については、安易な受診による過剰診療を防ぐため、現行の500円の自己負担は応分の負担です。対象年の引き上げについても、自治体間で余り格差のないよう県下の動向を注視していきます。

問 「原発震災は有り得ない」の安全神話は崩れた。今後その考えに変わりは

柏崎刈羽は場所によっては2、000ガルを超えた。浜岡原発の耐震性見直しを国や県に求める考えは無い。安全協定の見直し、事前了解事項を盛り込む気持ちは無い。電力会社は何か起こるたびに「想定外」で済まそうとするが、「それで済まされたら困る」が住民の気持ちだ。

東海地震が発生した時、その言葉を市長は使う事は

答 原子炉の安全を守る機能は確保・維持され、周辺住民や環境に放射能による事故は発生せず、原発震災のような事故とは違うものと認識している。2、058ガルを観測したが、最上階で観測された値で、浜岡での基準地震動である1、000ガルは、岩盤上における数字であって単純に比較できない。地震に対する新たな課題も見つかり、中電には今回の地震で明らかになった設備等、問題点の解消に向け、浜岡原発の必要な対策を速やかに実施されるよう要請した。安全協定は原子炉施設等の変更等の許認可は国である。県や市が結ぶ協定としては妥当なもの、市は安全協定を直ちに

地域防災と環境問題について



若杉 泰彦

災害時の対応

問 地震を止めることはできませんが、ある程度の予防や対策をすることで、被害を少なくしたり、早く普通の生活に戻すための準備はできます。1点目の質問としてボランティアの申し込みはどの部署で行い稼働方法は

どうするのか、2点目に市外からの救援物資の受付部門及び配布物資にはどんなものがあるか、3点目に市の飲料水兼用防火水槽や配水池タンクからの給水方法はどうか、4点目に近隣市との相互協定とその内容はどうか、5点目に先日の防災訓練でいくつかの町内会で無線機で通信ができなかったと聞いています。通信機器の故障対策や他の通信方法は考えているか、最後に市になってからの防災訓練で良かった点、

これからの課題は

答 ボランティアの受け入れは社会福祉協議会へ要請し、市と連携をとりながらやっていきます。ボランティアと連携した訓練、研修が大切です。市外からの援助物資は事業部物資班を中心に進めますが、今後細かな計画を作ります。飲料水の給水は御前崎港に自衛隊或いは海上保安庁から水がもつてこれらと考えます。近隣市との相互協定は各市の合併に伴い今後協定を結びなおすことを進めます。防災無線については本年度に同報、地域防災無線のデジタル化が完成しますので通話ができるものと考えます。今年度は東海地震対策に基づき実際の災害時を想定した自衛隊、自主防の訓練は意義がありました。今後の課題と

環境問題

問 地球温暖化が問題になっていきます。我が国でも京都議定書で温室効果ガス削減が約束されました。御前崎市における具体的な考え方や施策は

答 市では地球温暖化対策実行計画を策定し市が率先し事務事業に伴う温室効果ガスの削減に取り組んでいます。平成19年から23年までの5年間で2%の削減を考えています。節電、ペーパーレス、廃棄物減量と資源化、リサイクルをその重点目標にしています。子供が家庭の環境リーダーになるアースキッズ事業や一般家庭ではアースファミリー事業を実施しています。